

自動制御の多分野応用小委員会（第25期・第3回）議事録

日時： 令和4年5月30日（月）16:00～17:15

場所： 遠隔会議（主催会場：大阪大学 情報科学研究科棟 計画数理学講座研究室）

出席（順不同・敬称略）： 全19名

浅間 一（東大）、井村 順一（東工大）、岩崎 誠（名工大）、藤崎 泰正（阪大）、
水野 毅（埼玉大）、太田 快人（京大）、貝原 俊也（神戸大）、金子 修（電気通信大）、
佐藤 昌之（JAXA）、中野 公彦（東大）、平田 健太郎（岡山大）、藤本 康孝（横浜国大）、
増田 士朗（東京都立大）、山下 善之（東京農工大）、渡辺 亨（日大）

報告者：大塚 敏之（京大）、平田 光男（宇都宮大）、橋本 浩一（東北大）

オブザーバ：鈴木 雅康（宇都宮大）

欠席：榎木 哲夫（京大）、岡 宏一（高知工科大）

資料1-1：自動制御の多分野応用小委員会（第25期・第2回）議事録

資料1-2：自動制御連合講演会運営委員会規程

資料1-3：自動制御連合講演会規程

資料2-1：第64回自動制御連合講演会開催報告

資料2-2：制御工学教員協議会（2021年）報告

資料3-1：第65回自動制御連合講演会実施案

資料3-2：制御工学教員協議会（2022年）実施案

資料4：第66回自動制御連合講演会実施案

資料5：IFAC分科会（第25期・第2回）議事録

議事：

（1）前回議事録の確認

藤崎（阪大）委員長より、資料1-1の議事録の概要説明がなされた。

（2）自動制御連合講演会の運営に関する事項

議論に先立ち、藤崎（阪大）委員長より、資料1-2、1-3の講演会運営委員会規程および講演会規程の概要説明がなされた。

① 第64回自動制御連合講演会報告

大塚（京大）実行委員長より、資料2-1に基づき報告がなされた。第64回はオンライン開催につき、対面の場合に比して参加登録費を減額した。OS件数、講演件数共に、昨年よりも微減となり、参加登録者数は合計494名であったが、全体としては黒字となった。

② 制御工学教員協議会（2021年）報告

大塚（京大）実行委員長より、資料2-2に基づき報告がなされた。令和3年度の総会と教育研究集会は、11月13日に講演会会場にて実施された。総会では、令和3年度の事業報告等がなされるとともに、令和4年度の幹事校として東京大学が、代表者として中野公彦先生が選出された。

平田（宇都宮大）次期実行委員長より、教育研究集会での講師謝礼の額の質問があり、協議会の引継ぎ資料の記載も参照しつつ適時代表者が判断すればよい旨の回答があった。

③ 第65回自動制御連合講演会計画

平田（宇都宮大）実行委員長より、資料3-1に基づき計画が報告された。第65回は2022年11月12日（土）、13日（日）に宇都宮大学陽東キャンパスにて開催予定であり、実行委員会の主なメンバーが紹介された。実行委員に主催学会からの推薦委員を追加し、各学会へ広報を依頼する。開催方法については、新型コロナウイルス感染対策を順守しながら対面形式とするが、緊急事態宣言等が発令された場合はオンラインに切り替える（ハイブリッド開催は行わない）。いずれの場合でも、懇親会は開催しない。続いて、会場、参加登録費（案）、スケジュール（案）、会場と講演室、特別講演（山本裕紹先生（宇都宮大））、制御工学教員協議会、広告展示、収支予算書（案）が説明された。本計画は、特段の意見もなく承認された。

④ 制御工学教員協議会(2022年)計画

中野（東大）委員・代表者より、2022年計画が資料3-1に基づき報告された。連合講演会にて実施する教育研究集会では、「エンジニア教育のブレークスルーを考える」として、近藤隆氏（本田技術研究所）にご講演を依頼する旨の紹介がなされた。

⑤ 第66回自動制御連合講演会計画

橋本（東北大）実行委員長より、資料4に基づき計画案が説明された。第66回は2023年10月28日（土）、29日（日）に東北大河内講義棟にて開催予定（講義室確保状況により変更の可能性も残されている）であり、実行委員会委員、講演会収支予算（案）が説明された。本計画は、特段の意見もなく承認された。今後は、幹事学会である計測自動制御学会（SICE）で詳細が議論される。

⑥ 制御工学教員協議会(2023年)計画

橋本（東北大）実行委員長より、資料4に基づき計画案が説明された。2023年の協議会総会及び教育研究集会は、2023年10月28日（土）に東北大河内講義棟にて開催予定（自動制御連合講演会同様、日程変更の可能性あり）であり、併せて今後の予定が説明された。

（3）IFAC分科会の活動について

藤崎（阪大）委員長が榎木（京大）委員の代理で資料5の分科会議事要旨を説明した。資料5の分科会開催日以降の活動として、以下の追加報告があった。

- ・(11) 特任連携会員の推薦について、特任連携会員候補として推薦された石井秀明氏（東京工業大学・教授）は認められている。
- ・(13) その他の令和4年度代表派遣会議の募集への推薦について、浅野一哉氏（JFEテクノリサーチ株式会社）を推薦し、特任連携会員としても認められている。
- ・2024年以降に我が国で開催されるIFACシンポジウム等については、新たな申請は現在までない。

（4）今後の活動計画

今回の本小委員会は、第65回自動制御連合講演会会場（宇都宮大）にて、会期初日の2022年11月12日の昼食時間帯に開催予定である。講演会自体がオンライン開催になった際には、昨年同様にオンラインの小委員会開催とする。

以上